

## 第11回 文理融合シンポジウム

# 量子ビームで歴史を探る —加速器が紡ぐ文理融合の地平—

高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 (KEK 物構研) では、J-PARC MLF に設置されたミュオン科学研究施設 (MUSE) の世界最高強度の負ミュオンビームを活用し、文化財をはじめとする人文科学資料のための新たな非破壊研究手法を開発してまいりました。負ミュオンは、物質を傷つけることなくその内部を深く透過し、さらには非破壊で内部の材料の組成を特定できるという、極めてユニークな特徴を有しており、貴重な文化財や人文科学資料の真の姿を傷つけることなく解明する革新的な手法として、世界的に大きな注目を集めています。

本シンポジウムは、この負ミュオンの優位性に加え、放射光や中性子といった多様な量子ビームを駆使する自然科学研究者と、歴史の真実を追究する人文科学研究者が一堂に会する場として、2019年より継続的に開催してまいりました。そして今回で11回を迎えます。

昨年2025年の第10回のシンポジウムは、国立科学博物館にて開催し、多くの一般来場者を迎え、社会的な関心の高さを実証しました。今年は、1300年の息吹を感じる、我が国の歴史の礎である奈良にて開催することを予定しています。人文科学研究者と自然科学研究者が集い、より一層深い議論が交わされることを期待しています。

### 【9/26 (土) 一般講演会も併せて開催】

- 「宇宙のはじまりの『非常識』」 浅井 祥仁 氏
- 「要素還元論とホーリズム」 青柳 正規 氏
- 「ミュオンによる文化財科学」 反保 元伸 氏
- 「東北大学金属材料研究所 110年の歩み  
—ものづくり文化の伝統と継承—」 佐々木 孝彦 氏
- 「量子ビームでひらく科学と社会  
—見えないものを見る、狙って治す—」 中野 貴志 氏

世話人代表 幸田 章宏 (KEK 物構研)



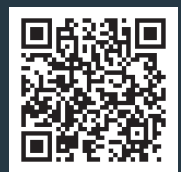
2026年

9/25<sub>金</sub>・27<sub>日</sub>

奈良春日野国際フォーラム  
麓 ~I・RA・KA~  
(オンサイト開催)

参加費：無料

参加申し込み・  
プログラム等  
詳細はWEBを  
ご覧ください。



<http://www2.kek.jp/imss/msl/2026/06/11-1.html>

### お問い合わせ

高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所  
代表 幸田 章宏  
E-mail : [bunri\\_yugo@ml.post.kek.jp](mailto:bunri_yugo@ml.post.kek.jp)

主催：高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所

共催：国立科学博物館、総合研究大学院大学、東北大学金属材料研究所

学術変革領域研究 (A) 「負ミュオン科学の新天地：物質・宇宙・人類をつなぐ知の融合」、

学術変革領域研究 (A) 「マルチスケールミュオンイメージングで『見る』；兆候から解明へ」

協催：J-PARC センター、大阪大学 核物理研究センター (RCNP)、日本中間子科学会、

大阪大学フォアフロント研究センター・先端ミュオン科学による文理協力型学術創出プロジェクト

特定放射光施設ユーザー協同体 (SpRUC) 文化財研究会、奈良県立橿原考古学研究所